令和6年度

定時総会議案書

日時 令和 6年 6月20日(木) 午後1時30分

場所 北コミュニティセンター I S T A はばたき 2階 セミナー室 201~203

公益社団法人 生駒市シルバー人材センター

シルバー人材センター基本理念

「自主・自立・共働・共助」

- 1. 地域の高齢者が、自主的にその生活しているところを単位に、共に働き、助け合っていくことを目指す。
- 2. 高齢者自身の活動的な、生活能力を生み出すとともに、地域社会に活力を生み出し、社会参加につなげていく。
- 3. 働く意欲と能力を持った者であれば、誰でも参加の道 を開き、自主的な組織参加と労働能力を発揮し、老後 の生活の維持と充実を図る。

< 目 次 >

1.	定時総会次第	• •	• • •	• • •	• •	• •	• •	• •	• •	1頁
2.	議案第1号 令和5		年度収定収支決算			及び ・・	監査・・・	報告 • •	につ・・・	いて 2頁
	監査報									14頁
3.	議案第2号	役員選	怪につい	いて	• •	• •	• •	• •	• •	16頁
4.	議案第3号		上団法人 ·部改正/							·会費規 17頁
5	報告第1号	会和 5	在度事	 紫	につ	いて				
J.	#K [] 3) 1 7)	11 JH O	一人子グ	K TK LI	• •				• •	18頁
6.	報告第2号	令和 6	年度事業	業計画	及び	収支	予算	につ	いて	
	令和 6	年度	事業計画	画•	• •	• •	• •	• •	• •	32頁
	令和 6	年度	収支予算	章 •						35頁

令和6年度

定 時 総 会 次 第

- 1. 開 会
- 2. 議 長 選 出
- 3. 議事録署名人の選出
- 4. 議事
 - (1) 議案第1号 令和5年度収支決算報告及び監査報告について
 - (2) 議案第2号 役員選任について
 - (3) 議案第3号 公益社団法人生駒市シルバー人材センター会費 規則の一部改正について
 - (4) 報告第1号 令和5年度事業報告について
 - (5) 報告第2号 令和6年度事業計画及び収支予算について
- 5. 閉 会

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

受取配分金 受取材料費等	9, 924 1, 151
1. 経常増減の部 (1) 経常収益 受託事業収益 受取配分金 受取材料費等 受取事務費 財工の数量を表現の数量を表現のです。 受取者が表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表現の表	5, 238 9, 924 1, 151 2, 720 3, 340
(1)経常収益 受託事業収益 受託事業収益 受取配分金 受取材料費等 の取す務費 計7,544,905 受取事務費 財務者派遣事業等受託収益 労働者派遣事業等受託収益 有料職業紹介事業受託収益 有料職業紹介事業受託収益 有料職業紹介事業受託収益 有料職業紹介事業受託収益 の有料職業紹介事業受託収益 の表別会員受取会費 の受取会費 の受取補助金等 の受取連合交付金 受取有対金 受取方付金 受取寄附金 の受取寄附金 の受取寄附金 の受取寄附金 の受取寄附金 の受取寄附金 の受取寄附金 の受取寄附金 の受取寄附金 の受取表費 のの受取寄附金 の受取寄附金 の受取寄附金 の受取寄附金 の受取素所金 の受取表費 のの受取有対象 のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	5, 238 9, 924 1, 151 2, 720 3, 340
受託事業収益 受取配分金 受取材料費等 受取事務費 財工 受取相別用料金収益 労働者派遣事業等受託収益 有料職業紹介事業受託収益 有料職業紹介事業受託収益 有財別会員受取会費 正会員受取会費 で取補助金等 受取補助金等 受取補助金等 受取補助金等 受取補助金等 受取補助金等 受取者附金 受取高附金 受取寄附金 受取寄附金 企 受取利息	5, 238 9, 924 1, 151 2, 720 3, 340
受託事業収益 受取配分金 受取材料費等 受取事務費 財工 受取相別用料金収益 労働者派遣事業等受託収益 有料職業紹介事業受託収益 有料職業紹介事業受託収益 有財別会員受取会費 正会員受取会費 で取補助金等 受取補助金等 受取補助金等 受取補助金等 受取補助金等 受取補助金等 受取者附金 受取高附金 受取寄附金 受取寄附金 企 受取利息	5, 238 9, 924 1, 151 2, 720 3, 340
受取配分金 受取材料費等	5, 238 9, 924 1, 151 2, 720 3, 340
受取材料費等	9, 924 1, 151 2, 720 3, 340
受取事務費 駐車場利用料金収益 労働者派遣事業等受託収益 有料職業紹介事業受託収益 で取会費 で取金費 で取す合う付金 受取連合交付金 受取者附金 受取寄附金 受取者附金 受取者附金 受取者別金 の での の で	1, 151 2, 720 3, 340
 駐車場利用料金収益 労働者派遣事業等受託収益 労働者派遣事業等受託収益 有料職業紹介事業受託収益 有料職業紹介事業受託収益 で取会費 で取会費 で取会費 で取会費 で取っ合費 で取っ合費 で取っ合費 で取っ合費 で取っ合費 で取っ合うで付金 で取っ合うで付金 で取っ合うで付金 で取っ合うで付金 で取っ合うで付金 で取っ合うで付金 で取っ合うで付金 で取っておいました。 でで取っているのであります。 ででしているのであります。 でのしているのであります。 でのしているのであります。 でのしているのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのではいるのでは	2, 720 3, 340
労働者派遣事業等受託収益 労働者派遣事業等受託収益 有料職業紹介事業受託収益 有料職業紹介事業受託収益 の で取会費 正会員受取会費 特別会員受取会費 受取補助金等 受取連合交付金 受取(市)補助金 受取寄附金 受取寄附金 受取素附金 受取利息	3, 340
労働者派遣事業等受託収益 1,457,224 1,313,884 14 有料職業紹介事業受託収益 0 0 0 受取会費 1,014,000 1,059,500 △ 4 正会員受取会費 0 1,014,000 1,059,500 △ 4 受取補助金等 22,916,000 23,560,000 △ 64 受取連合交付金 11,458,000 11,780,000 △ 32 受取寄附金 0 0 0 ○ 32 受取寄附金 0 0 0 ○ 32 受取利息 425,952 115,357 31 受取利息 309 264 31	
有料職業紹介事業受託収益), 340 0
有料職業紹介事業受託収益	
受取会費 1,014,000 1,059,500 △ 4 正会員受取会費 1,014,000 1,059,500 △ 4 特別会員受取会費 0 23,560,000 △ 64 受取連合交付金 11,458,000 11,780,000 △ 32 受取寄附金 0 0 0 受取寄附金 0 0 0 強収益 425,952 115,357 31 受取利息 309 264	0
正会員受取会費 特別会員受取会費 ② 受取補助金等 ② 取連合交付金 ③ 受取 (市) 補助金 ② 取寄附金 ② 取事所金 ② 取取有的金 ③ 风险和金 ④ 风险和金 ⑥ 风险	0
特別会員受取会費	
受取補助金等	5, 500
受取連合交付金 11,458,000 11,780,000 △32 受取 (市)補助金 11,458,000 11,780,000 △32 受取寄附金 0 0 難収益 425,952 115,357 31 受取利息 309 264	0
受取(市)補助金 11,458,000 11,780,000 △ 32 受取寄附金 0 0 愛取寄附金 0 0 雑収益 425,952 115,357 31 受取利息 309 264	
受取寄附金 0 受取寄附金 0 雑収益 425,952 受取利息 309	
受取寄附金 0 0 雑収益 425,952 115,357 31 受取利息 309 264	2,000
雑収益425, 952115, 35731受取利息309264	0
雑収益425, 952115, 35731受取利息309264	0
受取利息 309 264), 595
	45
T 本EBX (金) 1 47.0 (47.), 550
	5, 552
(2) 経常費用	,, 002
	9, 084
), 529
	2,774
), 234
	3, 900
	5, 300
	5, 544
	2,000
	5, 419
	l, 138
什器備品費 0 185,567 △ 18	
消耗品費 1,947,722 1,862,811 8	1,911
通信運搬費 2,414,465 2,085,921 32	3, 544
支払い配分金 173,549,955 174,702,823 △ 1,15	2,868
	9, 015
	9, 435
光熱水料費 1,699,689 2,088,394 △ 38	
	7, 256
	9, 260
	5, 000
	6, 800
	3, 000
2 日	,, 000 A
	ს 7 ეიი
	5, 500
訓練委託費 0 0 0	0
	3, 794
[0
雑費 21,828 51,217 △ 2	9, 389
雑損失	,
	0
給料手当 1,000,000 1,100,000 △ 10	0 2, 437

正味財産増減計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

			(単位:円)
科目	当年度	前年度	増減
法定福利費	130,000	160, 000	△ 30,000
退職給付費用	40,000	40,000	0
福利厚生費	2,673	7, 166	\triangle 4, 493
会議費	0	0	0
役員等旅費交通費	489, 500	446, 500	43,000
通信運搬費	1,680	2, 940	△ 1,260
消耗品費	41, 442	2, 660	38, 782
印刷製本費	396, 000	123, 200	272, 800
光熱水料費	0	0	0
賃借料	126, 535	120,000	6, 535
保険料	109, 000	100,000	9,000
租税公課	400	3, 200	△ 2,800
支払負担金	262, 900	233, 600	29, 300
委託費	1, 735, 340	1, 470, 506	264, 834
支払手数料	2, 180	1, 110, 000	2, 180
雑費	194, 559	0	194, 559
経常費用計	240, 052, 460	236, 150, 939	3, 901, 521
評価損益等調整前当期経常増減額	1, 784, 399	4, 909, 368	\triangle 3, 124, 969
基本財産評価損益等	1, 704, 333	4, 303, 300	\(\tag{0}, 124, 909\)
特定資産評価損益等		0	0
投資有個証券評価損益等	0	0	0
	0	0	0
当期経常増減額	1, 784, 399	4, 909, 368	\triangle 3, 124, 969
2.経常外増減の部	1, 704, 399	4, 909, 300	\triangle 3, 124, 969
(1)経常外収益			
	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用		0	0
固定資産除却損	0	0	0
車両運搬具除却損	0	0	0
過年度損失修正	0	0	0
過年度修正損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	1, 784, 399	4, 909, 368	△ 3, 124, 969
一般正味財産期首残高	32, 845, 242	27, 935, 874	4, 909, 368
一般正味財産期末残高	34, 629, 641	32, 845, 242	1, 784, 399
Ⅱ指定正味財産増減の部			
(1) 収益			
	0	0	0
(2)費用			
費用計	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	34, 629, 641	32, 845, 242	1, 784, 399

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

;		小芯日的 重業会計					(日:加書)
を対して	シルバー人材センター事業		十二	その他会計	法人会計	内部取引等消去	一
温の製造の単独工作の場合を通り			ı,				
1							
(1)							
(1/ 有6 女) 有6 女) 有8 女)	0000	(000		F C C C C C C C C C C C C C C C C C C C		000
	211, 998, 495)		Õ	4, 025, 188		216, 023, 683
水型配分紙	151, 842, 439	0	151, 842, 439	0	0		151,842,439
	23, 027, 849	0		0	0		23, 027, 849
受取事務費	13, 519, 717	0	13, 519, 717	0	4,025,188		17, 544, 905
駐車場利用料金収益	23, 608, 490	0	23, 608, 490	0	0		23, 608, 490
労働者派遣事業等受託収益	1, 457, 224	0	1, 457, 224	0	0		1, 457, 224
スロデーボンス にて明 米値 本 に 帰 車 本 に 帰 車 本 で は に な に な に な に な に な に な に な に な に な に	1 457 294		1 457 294	, 0			1 457 294
ク 製 与 かく は かく は かく は かく は かく は かく は ま かく は ま かい は	1, 101, 121		1, 101, 221		0		1, 101, 127
古人被米后之一,米米人们父儿					0		
一年一年一十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十十	0 000	0	0 000				0000
対表別質し、非には、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は、は	201, 000	0	201, 000	0	507,000		1,014,000
「小公司のおの道	507,000	0	207, 000	0	507, 000		1,014,000
特別会員受取会費	0	0	0	0	0		0
受取補助金等	22, 916, 000	0	22, 916, 000	0	0		22, 916, 000
受取連合交付金	11, 458, 000	0	11, 458, 000	0	0		11, 458, 000
	11, 458, 000	0	11, 458, 000	0	0		11, 458, 000
	0		0	, 0			0
人交匹尼引加巴州系令					0		
大大四四月	D 100		L 00		5		0 0 0
無文は	425, 931	0	425, 931	0	21		425, 952
() () () () () () () () () ()	288	0	288	0	21		308
 	425,643	0	425,643	0	0		425,643
経常収益計	237, 304, 650	0	237, 304, 650	0	4, 532, 209		241,836,859
(2)経常費用							
事業費	235, 520, 251	0	235, 520, 251	0	0		235, 520, 251
支払材料費等	10, 542, 390	0	10, 542, 390	0	0		10, 542, 390
	19, 520, 513	0	19, 520, 513	0	0		19, 520, 513
には、日本の関係を表現して、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現して、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現して、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本の関係を表現りでは、日本のののでは、日本ののでは、日本ののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本のののでは、日本ののののでは、日本ののののでは、日本のののののののののののののののののののののののののののののののののののの	4 321 830	0 0	4 321 830	· · ·	0		4 321 830
新沙斯 新沙斯	3 048 036	0	3 048 036	· · ·	0		3 048 036
が行っている。日本の一、日本の一、日本の一、日本の一、日本の一、日本の一、日本の一、日本の一、	1 989 140		1 989 140				1 282 140
	1, 202, 140		1, 202, 1±0		0		1,202,140
	00,000		00, 00		0		00,000
以	100 001		100 001		0		100 001
// // // // // // // // // // // // //	199,000	0 (155,005				155, 005
	48, 670	0	48, 070	0	0		48,670
		<u> </u>	0 0	0	0		0
消耗品費	1, 947, 722	0	1,947,722	0	0		1,947,722
通信運搬費	2, 414, 465	0	2, 414, 465	0	0		2, 414, 465
支払い配分金	173, 549, 955	0	173, 549, 955	0	0		173, 549, 955
修繕費	1, 178, 041	0	1, 178, 041	0	0		1, 178, 041
印刷製本費	327,035	0	327,035	0	0		327,035
光熱水料費	1, 699, 689	0	1,699,689	0	0		1, 699, 689
賃借料	6, 270, 833	0	6, 270, 833	0	0		6, 270, 833
保險約	3, 449, 860	0	3, 449, 860	0	0		3, 449, 860
-	10:000	0	10,000	0	0		10,000
7.54 H L		-		-	-	-	

正味財産増減計算書内訳表

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日ま

41, 442 396, 000 4, 532, 209 1, 000, 000 130, 000 126, 535 109, 000 465, 246 21,828 40,000 2,673 1,680262,900 0 0 0 489,500 1,735,340 180 Ē 3,660, <u>ئ</u> 94, 1, 784, (単位) 空評 内部取引等消去 1, 680 41, 442 396, 000 130, 000 40, 000 126, 535 109, 000 262, 900 1, 735, 340 2, 180 2,673 189, 500 400 559 194, 法人会計 000 その他会計 0000 738 500 465, 246 21,828 660, , 784, 520, 十二十 235, 公益目的事業会計 世 半 738 500 246 00000000000000000 0000 シルバー人材センター事業 465, ., 564, 3,660, ъ, 21, ., 784, 235, 520, Ш 本 経常外費用計 当期経常外増減額 2

正味財產増減計算書内訳表

今和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

							(単位:円)
<u> </u>		公益目的事業会計		さん 単ぐ 計	# 4	中部配引体治士	☆
皿な	シルバー人材センター事業	東 兼	上計	このでは対応	はく対	어래됐기후/A 스	_ _ _
他会計振替前当期一般正味財産増減額	1, 784, 399	0	1, 784, 399	0	0		1, 784, 399
他会計振替額	0	0	0	0	0		0
当期一般正味財産増減額	1, 784, 399	0	1, 784, 399	0	0		1, 784, 399
一般正味財産期首残高			32, 845, 242	0	0		32, 845, 242
一般正味財産期末残高			34, 629, 641	0	0		34, 629, 641
11指定正味財産増減の部 (1)収表							
(1) 次則 収益計	0	0	0	0	0		0
(2)費用							
費用計	0	0	0	0	0		0
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0		0
指定正味財産期首残高			0	0	0		0
指定正味財産期末残高			0	0	0		0
Ⅲ 正味財産期末残高			34,629,641	0	0		34, 629, 641

収支計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

1 √ □	マケボ	2七 存在 東西	(単位:円 <u>)</u> ※関
科目	予算額	決算額	差異
I一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1)経常収益	005 000 000	014 000 400	11 550 015
受託事業収益	227, 800, 000	216, 023, 683	11, 776, 317
受取配分金	165, 000, 000	151, 842, 439	13, 157, 561
受取材料費等	19, 000, 000	23, 027, 849	△ 4,027,849
受取事務費	19, 800, 000	17, 544, 905	2, 255, 095
駐車場利用料金収益	24, 000, 000	23, 608, 490	391, 510
労働者派遣事業等受託収益	2, 000, 000	1, 457, 224	542, 776
労働者派遣事業等受託収益	2, 000, 000	1, 457, 224	542, 776
有料職業紹介事業受託収益	100, 000	0	100, 000
有料職業紹介事業受託収益	100, 000	0	100, 000
受取会費	1, 160, 000	1, 014, 000	146, 000
正会員受取会費	1, 160, 000	1, 014, 000	146, 000
特別会員受取会費	0	0	0
受取補助金等	22, 916, 000	22, 916, 000	0
受取連合交付金	11, 458, 000	11, 458, 000	0
受取(市)補助金	11, 458, 000	11, 458, 000	0
受取寄附金	0	0	0
受取寄附金	0	0	0
雑収益	52,000	425, 952	\triangle 373, 952
受取利息	2,000	309	1, 691
雑収益	50,000	425, 643	\triangle 375, 643
経常収益計	254, 028, 000	241, 836, 859	12, 191, 141
(2)経常費用	204, 020, 000	241, 050, 059	12, 191, 141
事業費	253, 010, 000	235, 520, 251	17, 489, 749
支払材料費等	11, 200, 000	10, 542, 390	657, 610
給料手当	20, 000, 000	19, 520, 513	479, 487
臨時雇賃金	4, 500, 000	4, 321, 830	178, 170
法定福利費	3, 100, 000	3, 048, 036	51, 964
退職給付費用	1, 300, 000	1, 282, 140	17, 860
福利厚生費	90,000	58, 055	31, 945
会議費	20,000	0	20, 000
旅費交通費	150, 000	133, 005	16, 995
減価償却費	50, 000	48, 670	1, 330
什器備品費	200, 000	0	200, 000
消耗品費	2, 200, 000	1, 947, 722	252, 278
通信運搬費	2, 500, 000	2, 414, 465	85, 535
支払い配分金	186, 000, 000	173, 549, 955	12, 450, 045
修繕費	1, 600, 000	1, 178, 041	421, 959
印刷製本費	330, 000	327, 035	2, 965
光熱水料費	2, 200, 000	1, 699, 689	500, 311
賃借料	6, 860, 000	6, 270, 833	589, 167
保険料	3, 700, 000	3, 449, 860	250, 140
諸謝金	50,000	10,000	40, 000
租税公課	2, 000, 000	1, 564, 700	435, 300
支払負担金	30, 000	0	30, 000
組織活動助成費	0	0	0
委託費	4, 300, 000	3, 660, 738	639, 262
教材費	30,000	5, 500	24, 500
訓練委託費	0	0,000	24, 500
支払手数料	500,000	465, 246	34, 754
貸倒損失	0	0	01, 101
其	100, 000	21, 828	78, 172
#	100,000	0	10, 112
	5, 185, 000	4, 532, 209	652, 791
給料手当	1,000,000	1,000,000	0
法定福利費	130, 000	130, 000	0

収支計算書

令和 5年 4月 1日から令和 6年 3月31日まで

			<u>(単位:円)</u>
科目	予算額	決算額	差異
退職給付費用	40,000	40,000	0
福利厚生費	10, 000	2,673	7, 327
会議費	5, 000	0	5,000
役員等旅費交通費	650, 000	489, 500	160, 500
通信運搬費	20,000	1,680	18, 320
消耗品費	50,000	41, 442	8, 558
印刷製本費	400,000	396, 000	4,000
光熱水料費	0	0	0
賃借料	130,000	126, 535	3, 465
保険料	120,000	109, 000	11,000
租税公課	25, 000	400	24, 600
支払負担金	265, 000	262, 900	2, 100
委託費	2, 080, 000	1, 735, 340	344, 660
支払手数料	10,000	2, 180	7, 820
雑費	250, 000	194, 559	55, 441
経常費用計	258, 195, 000	240, 052, 460	18, 142, 540
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 4, 167, 000	1, 784, 399	\triangle 5, 951, 399
基本財産評価損益等	0	0	0,001,000
特定資産評価損益等	0	0	0
投資有価証券評価損益等	0	0	0
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	△ 4, 167, 000	1, 784, 399	\triangle 5, 951, 399
2. 経常外増減の部	<u></u>	1, 101, 000	△ 0,001,000
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2)経常外費用	0	U	0
固定資産除却損	0	0	0
車両運搬具除却損	0	0	0
過年度損失修正	0	0	0
過年度修正損	0	0	0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	△ 4, 167, 000	1, 784, 399	\triangle 5, 951, 399
一般正味財産期首残高	32, 845, 242	32, 845, 242	<u> </u>
一般正味財産期末残高	28, 678, 242	34, 629, 641	\triangle 5, 951, 399
Ⅲ指定正味財産増減の部	28, 678, 242	34, 029, 041	△ 5, 951, 599
(1) 収益			
収益計	0	0	0
(2)費用	0	U	0
費用計	<u> </u>	0	Λ
	0	0	0
当期指定正味財産増減額	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0 00 070 040	0	0
Ⅲ 正味財産期末残高	28, 678, 242	34, 629, 641	\triangle 5, 951, 399

貸借対照表

令和 6年 3月31日現在

N.D.	从左击	*	(単位:円)
科目	当年度	前年度	増減
I資産の部			
1. 流動資産			
現金	132, 293	161, 418	\triangle 29, 125
普通預金	29, 183, 163	27, 930, 985	1, 252, 178
未収金	17, 523, 339	14, 746, 778	2, 776, 561
仮払金	610, 939	657, 614	\triangle 46, 675
貯蔵品	269, 550	229, 230	40, 320
立替金	48, 100	48, 100	0
前払金	0	10, 000	△ 10,000
流動資産合計	47, 767, 384	43, 784, 125	3, 983, 259
2. 固定資産	11,101,001	10, 101, 120	0, 000, 200
(1)特定資産			
財政安定化準備資金	3, 000, 000	3, 000, 000	0
エリアサポート事業等準備資金	470, 585	979, 371	△ 508, 786
特定資産合計	3, 470, 585	3, 979, 371	△ 508, 786
付足員座占司 (2)その他固定資産	3, 470, 565	5, 919, 511	△ 500, 760
車輌運搬具	0	0	0
中判理颁兵	0 431, 206	0	100 520
11 番畑中 その他固定資産合計		301, 676 301, 676	129, 530 129, 530
	431, 206		
固定資産合計 資産合計	3, 901, 791	4, 281, 047	△ 379, 256
	51, 669, 175	48, 065, 172	3, 604, 003
Ⅲ負債の部			
1. 流動負債			
未払金	15, 371, 565	14, 170, 496	1, 201, 069
前受金	941, 272	906, 876	34, 396
預り金	685, 137	102, 655	582, 482
仮受金	41, 560	39, 903	1,657
流動負債合計	17, 039, 534	15, 219, 930	1, 819, 604
負債合計	17, 039, 534	15, 219, 930	1, 819, 604
Ⅲ正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(0)	(0)	(0)
2. 一般正味財産	34, 629, 641	32, 845, 242	1, 784, 399
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(3, 470, 585)	(3, 979, 371)	\triangle 508, 786
正味財産合計	34, 629, 641	32, 845, 242	1, 784, 399
負債及び正味財産合計	51, 669, 175	48, 065, 172	3, 604, 003
ARAC HARACHI	01,000,110	10,000,112	٥, ٥٥١, ٥٥٥

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

(1) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

貯蔵品・・・最終仕入原価法

(2) 固定資産の減価償却の方法

減価償却資産について、定額法により直接減価償却を実施している。

(3) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込方式によっている。

2. 特定資産の増減額及びその残高

特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位:円)

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
特定資産				
財政安定化準備資	3,000,000	0	0	3,000,000
金				
エリアサポート事	979,374	0	508,786	470,585
業等準備資金				
合 計	3,979,371	0	508,786	3,470,585

3. 特定資産の財源等の内訳

特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位:円)

科	目	当期末残高	(うち指定正味財	(うち一般正味財	(うち負債に
17	日	コ <i>州</i> ババス同	産からの充当額)	産からの充当額)	対応する額)
特定資産					
財政安定化	匕準備資	3,000,000	(0)	(3,000,000)	(0)
金					
エリアサス	ポート事	470,585	(0)	(470,585)	(0)
業等準備資	資金				
合	計	3,470,585	(0)	(3,470,585)	(0)

4. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。 (単位:円)

科目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
什器備品	553,520	122,314	431,206
合 計	553,520	122,314	431,206

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。 (単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表 上の記載区 分
受取補助金等 ・高年齢者就業 機会確保事業	連合会	_	5,339,000	5,339,000	_	_
費等補助金 ・雇用開発支援事業費等補助金 ・運営補助金	連合会	_	6,119,000 11,458,000	6,119,000 11,458,000	_	_
合 計		_	22,916,000	22,916,000	_	

6. その他

消費税の計上が現金主義であるため、配分金のうち免税事業者に対する消費税仕入税額控除不可に相当する金額 1,546 千円が租税公課、未払金及び当期経常増減額に影響がある。

財 産 目 録

令和6年3月31日現在

		11/11 0 17 0 71 01 115	, , , ,	(十四・11)
貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金	手元保管	シルバー人材センター事 業の運転資金として	132,293 円
	普通預金	普通預金 南都銀行生駒支店	シルバー人材センター事 業の運転資金として	6,223,454 円
		普通預金 南都銀行生駒支店	シルバー人材センター事 業の運転資金として	19,815,453 円
		普通預金 南都銀行生駒支店	シルバー人材センター事 業の運転資金として	2,697,002 円
		普通預金 南都銀行生駒支店	法人管理の運転資 金として	447,254 円
			計	29,183,163 円
	未収金	生駒市他	請負事業未収入金	16,686,245 円
		県シ協	派遣手数料他	837,094 円
			計	17,523,339 円
	仮払金	労働保険料		370,619 円
		事故費用		21,440 円
		役員賠償責任保険		218,880 円
			計	610,939 円
	貯蔵品	有料ゴミ袋	在庫分	269,550 円
	立替金	自転車駐車場	釣り銭用現金	48,100 円
流動資産台	計			47,767,384 円
(固定資産)	,			
特定資産	財政安定化準備 資金	普通預金 南都銀行生駒支店	財政安定化資金	3,000,000 円
	エリアサポート 事業等準備資金	普通預金 南都銀行生駒支店	新規事業資金	470,585 円
		計		3,470,585 円
その他固定資産	什器備品	コインロッカー 2台	公益目的保有財産であ りシルバー人材センタ 一事業に使用している	264,144 円
		事務局パソコン1台	公益目的保有財産であ りシルバー人材センタ 一事業に使用している	167,062 円
固定資産合計				3,901,791 円
資産合計				51,669,175 円

貸借対照表科目		場所・物量等		使用目的等	金額
(固定負債)					
	未払金	配分金	355名	シルバー人材センター	12,541,486 円

		T		
			事業に供する配分金の	
			支払い金額	
		材料費等	シルバー人材センター	839,129 円
			事業に供する材料費等	
			の支払い金額	
		業務委託料等	シルバー人材センター	1,990,950 円
			事業に供する業務委託	
			料等の支払い金額	
			計	15,371,565 円
	前受金	会員会費等	シルバー人材センター	941,272 円
			事業に供する会員会費	
			等の前受け金額	
	預り金	職員社会保険料等	職員からの社会保険料	685,137 円
			等の預り金	
	仮受金		シルバー人材センター	41,560 円
			事業に供する請負業務	
			契約の仮受け金額	
流動負債合計	17,039,534 円			
負債合計	17,039,534 円			
正味財産				34,629,641 円

監事監查報告書

私ども監事は、公益社団法人生駒市シルバー人材センターの令和5年4月1日から令和6年3月31日までの令和5年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果につき以下のとおり報告いたします。

1. 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に 努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務 の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧 し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該事業年度に 係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿又はこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類 (貸借対照表、正味財産増減計算書、正味財産増減計算書内訳表、財務諸表に対する 注記)及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2. 監査の結果

- (1) 事業報告の監査結果
 - ① 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
 - ② 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益(正味財産 増減)の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認めます。

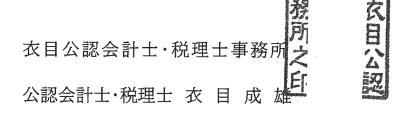
令和 6年 5月 8日

公益社団法人生駒市シルバー人材センター

監事なるう行事は

監事 放束 正延后)

公益社団法人生駒市シルバー人材センター 御中



計算書類等の確認について

令和5年度(令和5年4月1日から令和6年3月31日まで)における 公益社団法人生駒市シルバー人材センターの計算書類等(貸借対照表、正 味財産増減計算書、財務諸表に対する注記及び財産目録)について、衣目 公認会計士・税理士事務所が公益法人会計基準(改正 平成21年10月16 日・内閣府公益認定等委員会)に準拠して作成されていることを確認しまし た。

理事候補者名簿

任期 令和6年度定時総会から令和8年度定時総会まで

役員	氏 名	選出団体
理事	山 本 昇	生駒市
理事	後藤治彦	生駒市
理事	辻 中 伸 弘	生駒市社会福祉協議会
理事	唐 金 吉 弘	生駒商工会議所
理事	稲 田 雅 也	生駒市自治連合会
理事	松葉昭則	生駒市老人クラブ連合会
理事	中 村 成 三	正会員
理事	石川久夫	正会員
理事	中村今朝伸	正会員
理事	家留忍	正会員
理事	坂 東 正 延	正会員
理事	中 元 佳揚子	正会員
理事	辻 本 永 子	正会員
理事	鈴 木 憲 幸	正会員
理事	川端信一郎	シルバー人材センター事務局
監事	松山治幸	学識経験者
監事	今 井 兼 之	正会員

議案第3号 公益社団法人生駒市シルバー人材センター会費規則の一部改正について

現 行	改正後
(会費の額) 第2条 正会員、特別会員及び賛助会員の一事業年度に納入すべき会費の額は、次の各号に定める額とする。 (1) 正会員の会費は、年額2,000円とする。 (2) 特別会員の会費は、年額2,000円とする。 (3) 賛助会員の会費は、個人年額2,000円、団体会員2,000円とする。 00円とする。 2 事業年度の途中で入会した正会員、特別会員及び賛助会員のその事業年度の会費は、理事会の決議によってこれを月割り又は減免することができる。	(会費の額) 第2条 正会員、特別会員及び賛助会員の一事業年度に納入すべき会費の額は、次の各号に定める額とする。 (1) 正会員の会費は、年額2,000円とする。 (2) 特別会員の会費は、年額2,000円とする。 (3) 賛助会員の会費は、個人年額2,000円とする。 2 事業年度の途中で入会した正会員、特別会員及び賛助会員のその事業年度の途中で入会した正会員、特別会員及び賛助会員のその事業年度の会費は、入会時期によりこれを減額又は減免することができる。 (1) 10月1日から12月31日まで、年額1,000円
	附 則 この規則は、令和6年7月1日から施行する。

令和5年度 公益社団法人生駒市シルバー人材センター事業報告

概要

令和5年度の受託事業実績は、2億1602万3683円、前年比100.4%で前年とほぼ同水準の結果となりました。「請負・委任」での就業延人数は45,203人日、前年比97.0%となりました。雇用を要する「派遣」の就業延人数は3,464人日で前年比112.4%の結果でした。また、3月末日の会員数は570人で前年から12名増加し、就業延べ人数以外は前年を上回る結果となりました。

決算数値による活動状況推移(各年度3/31時点)

75 D	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度
項目	(2019年度)	(2020年度)	(2021年度)	(2022年度)	(2023年度)
会員数	634 人	561 人	545 人	558 人	570 人
男	471 人	426 人	412 人	412 人	410 人
女	163 人	135 人	133 人	146 人	160 人
平均年齢	74.7 歳	75.0 歳	75.1 歳	75.2 歳	75.3 歳
就業人員	461 人	423 人	429 人	443 人	462 人
就業率	72.7%	75.4%	78.7%	79.4%	81.1%
受注件数	3,092 件	2,939件	2,809件	2,635 件	2,254 件
契約金額	231,959 千円	207,125 千円	208,781 千円	215,012 千円	216,023 千円
うち公共	94,952 千円	75,505 千円	77,926 千円	76,090 千円	81,704 千円
経常収益	258,090 千円	232,837 千円	234,338 千円	241,060 千円	241,837 千円
経常費用	251,450 千円	237,812 千円	233,672 千円	236,151 千円	240,052 千円
差引収支	6,640 千円	△4,975 千円	666 千円	4,909 千円	1,784 千円

《参考》

駐輪場収支 △	1,812 千円	△3,083 千円	$\triangle 2,331$ 千円	469 千円	△1,227 千円
---------	----------	-----------	----------------------	--------	-----------

以下、項目ごとに報告いたします。

1. 組織運営

令和5年度は設立30周年の節目の年でした。それを記念して令和6年1月 23日に生駒市図書会館において設立30周年記念式典を開催いたしました。 当日は、小紫市長、吉村市議会議長、奈良県シルバーの宇田会長にもご来賓と して出席いただきました。また多くの会員も出席いただき、盛大に催すこととな り、30周年を記念するに相応しい式典ができたと思います。

シルバー人材センターの事業運営に関しては、生駒市から指定管理で受託している生駒駅前自転車駐車場全体の利用料金収入は 2,360 万 8,490 円、令和 4 年度比で約 98%となり前年を下回り、収支としては約 120 万円の赤字となりました。しかしながら、受託事業全般も前述のとおり前年度比で 70 万円ほど上回る結果となりました。会員就業率においても、会員数が増加しても就業率がアップできるまでになり、会員登録後すぐに就業に就いていただく取組が奏功しているものと思われます。また会員数も 2 年連続で純増する結果となり、シルバーの存在も徐々に認知されてきたものと思われます。

委員会活動として、令和5年度は事業企画委員会、広報委員会、女性委員会の3つの委員会が活発に活動できました。事業企画委員会では、複数回の講習会やハイキングなどの企画実行、女性委員会も30周年記念式典の来場プレゼントを手作りで製作いただき、式典参加者からも大好評を得ました。広報委員会も記念誌製作に当たっての写真撮影などを積極的に活動されました。目的は、「会員主体のセンターづくり」、「会員拡大」、「就業機会の拡大」です。今後も各委員会の活動を通じて、会員拡大や就業機会の拡大をはじめ、会員と事務局、会員同士の繋がりを高めてまいります。

2. 会員の拡大

全国的にも会員の高齢化や会員数の減少が進む中において、会員の拡大はシルバー人材センターの大きな課題の一つです。令和 5 年度も引き続き、生駒市広報誌「いこまち」への綴りファイルへの広告掲載など実施しました。新規の入会説明会は定期開催を月 2 回実施しました。また新規入会の会費額を 10 月以降から段階的な引下げ施策、夫婦会員であれば会費を半額にする施策も行うことで、年間通じて入会者があり、会員数の増加に繋がったと思われます。

これにより、令和3年度から2年連続で前年度を上回る会員数の結果が出すことができました。全国的に会員数の減少する中において、会員数を増加できていることは喜ばしいことであります。これまでの取組は継続して行い、令和6年度も会員数が1名でも多くなるように女性会員の増加施策を中心に新たな取組を行いたいと思います。

3. 就業機会の拡大

令和 5 年度も前年度から引き続き屋外作業については、就業会員の高齢化と 就業人数が思ったほど増えず厳しい状況です。ご依頼いただく生駒市内の世帯 も高齢化が進み、剪定等の屋外作業の依頼は増えていますが、それに応えられる だけの就業会員を十分確保ができておらず、新規の受注を止める等の受注調整 を行わざるを得ない状況にあります。以前から会員拡大と就業拡大は両輪であ ると言われていますが、令和2年度以前の会員の減少が大きく影響しています。 前段での会員拡大では会員数は前年度を上回り着実に良い方向には進んでいま すが、特に屋外就業人数における状況はまだ好転しているとは言い難い状況で す。屋外作業に従事する会員を一人でも多く増やし、できるだけ現在の受注件数 の確保を行ってまいります。

また、派遣就業については令和 5 年度実績では微増でした。受注件数等はまだまだ少ないものの、取組余地のある分野ですので令和 6 年度も引き続き就業場所の拡大・確保を推進してまいります。

4. 安全・適正就業の徹底

令和5年度も「安全就業」のため、安全委員会の開催と安全パトロールを実施 しました。また例年同様「熱中症対応マニュアル」に基づき「熱中症指数計」を 会員に貸与し、夏季屋外作業への安全就業の推進を図りました。その結果、軽い 熱中症に罹る会員もいましたが、重篤な症状に至ることはありませんでした。

また自動車の運転を基本とする公共業務に就業する会員に対して、昨年度と同様に運転適正検査の受講を必須としました。高齢者の自動車運転での事故が多発している昨今、現状の運転操作について客観的な検査方法で診断してもらい、会員がそれぞれの自分自身の弱点を知り、過信することのないよう慎重な運転を日ごろから行うきっかけづくりを行いました。

5. 講習会の実施

令和6年2月には公共業務就業会員及び派遣就業会員向けに接遇研修を開催しました。これまでと同様にシルバー基本理念の「共働」「共助」を基に、現役時代に研修講師等の経験のある会員が実際に講師となり、会員同士で学び合う環境づくりを図りました。対人関係の業務も多く扱うことから、一人でも多くの

会員に受講するように働きかけ、今後もサービス向上を目指してまいります。

また高齢者による交通事故等が全国的に多く発生している状況から、会員に対する安全運転をはじめとする交通安全の講習も企画してまいると共に健康増進などに関する講習会を企画していきたいと考えています。

1. 理事会等の開催状況

会議名	開催年月日	主な内容
令和5年度	令和5年5月23日	1.令和4年度事業報告
第1回通常理事会		2.令和4年度収支決算報告(監査報告)
		3.役員の選任
		4.令和5年度定時総会招集手続き等
		5.令和4年度下半期(10月~3月)におけ
		る代表理事等の職務執行状況報告
		6.正会員の入会
令和5年度	令和5年6月22日	1.令和 4 年度収支決算報告(監査報告)
定時総会		2.役員の選任
		3.令和 4 年度事業報告
		4.令和5年度事業計画及び収支予算
令和5年度	令和5年9月28日	1.令和6年度見積基準額表
第2回通常理事会		2.規則の一部改正
		3.会費の減免
		4.事務局職員採用(事務局体制)
		5.正会員の入会
		6.令和5年度収支状況中間報告
		7.令和5年度事故発生中間報告
		8.創立 30 周年記念事業
令和5年度	令和5年12月23日	1.令和6年度予算編成方針
第3回通常理事会		2.令和5年度第1回補正予算
		3.職員給与旅費規則の一部改正
		4.令和5年度上半期(4月~9月)におけ
		る代表理事等の職務執行状況報告
		5.正会員入会
		6.令和6年度役員選出方針
		7.自転車駐車場指定管理者の指定申請
		8.設立 30 周年記念式典への出席依頼
令和5年度	令和6年3月25日	1.令和5年度第2回補正予算
第4回通常理事会		2.令和6年度事業計画
		3.令和6年度収支予算
		4.職員給与旅費規則の一部改正
		5.役員賠償責任保険の加入
		6.正会員の入会

	7.令和6年度理事会・定時総会開催予定
	8.生駒駅前自転車駐車場の指定管理報告

2. 諸会議・行事等の開催状況

		T
名称	月日及び場所	内容
衣目公認会計士監査	令和5年4月27日	令和 4 年度会計監査
監事監査	令和5年5月9日	令和 4 年度運営監査
県シ協・第1回事務	令和5年6月9日	連合事務局長会議報告
局長会議		
県シ協・第1回安全	令和5年6月26日	令和5年度安全適正就業実施計画
適正就業対策推進		研修会開催、安全パトロールについて
委員会		
奈良県 - 立入検査	令和5年8月1日	公益法人適正運営検査
近シ協・職員研修	令和5年8月21日	「包括契約」に関する研修会
会	\sim 22 日	
奈良県 - 公益法人	令和5年9月5日	公益法人立入検査指摘事項等注意点、公益
研修会		法人の役割と責任について
会員役員会	令和5年9月6日	令和6年度見積基準額の検討
全シ協・派遣元責	令和5年9月26日	派遣事業運営法人に対する定期講習会
任者講習		
県シ協・第2回安全	令和5年9月27日	講義:適正就業ガイドライン、飛石事故防
適正就業対策推進		止について
委員会		グループ討議
県シ協 - 第2回事務	令和5年10月16日	連合事務局長会議報告、意見交換会
局長会議		
県シ協 - 経理担当	令和5年10月18日	インボイス制度及び電子帳簿保存法につ
者会議		いて
県シ協・安全パト	令和5年10月20日	天理市 SC、磯城郡 SC 訪問、安全就業意
ロール		見交換会
県シ協・派遣元実	令和6年1月18日	講義:労働者派遣の概要及び留意点
務担当者研修		意見交換会
県シ協・第2回安全	令和6年2月5日	安全パトロール結果報告、令和6年度委員
適正就業対策推進		会活動計画
委員会		

県シ協・奈良シル	令和6年2月7日	女性会員の拡大と交流会
ボンヌのつどい		
県シ協 - 第3回事務	令和6年2月20日	連合事務局長会議報告、フリーランス新法
局長会議		に関する契約方法の見直し

3. 各委員会の開催状況

①安全委員会

会議名	開催年月日	主な内容
第1回委員会	令和5年5月29日	令和4年度活動報告、令和5年度計画等
第2回委員会	令和5年7月10日	安全パトロール(剪定班 草刈班)
第3回委員会	令和5年11月14日	安全パトロール(草抜班 草刈班 公園清
		掃班)
第 4 回委員会	令和6年2月29日	生駒警察による交通安全運転講習

②事業企画委員会

△ 達力	則爆年 日 口	ナわ内容
会議名	開催年月日	主な内容
第8回委員会	令和5年5月23日	次回交流会テーマの検討協議
第9回委員会	令和5年6月23日	会員交流会第2回協議
第 10 回委員会	令和5年7月21日	会員交流会第2回協議
第 11 回委員会	令和5年8月22日	会員交流会第2回協議
第 12 回委員会	令和5年9月26日	11月25日開催ハイキングについて
第 13 回委員会	令和5年10月18日	11月 25日開催ハイキングについて
第 14 回委員会	令和5年11月17日	定期的な会員交流の場について
イベント企画	令和5年11月25日	会員交流会ハイキング 往馬大社他
第 15 回委員会	令和5年12月26日	定期的な会員交流の場について
定期交流会	令和6年2月9日	会員交流会 囲碁・将棋
定期交流会	令和6年2月22日	会員交流会 囲碁・将棋
イベント企画	令和6年2月26日	スマホ教室開催
第 16 回委員会	令和6年2月13日	イモ山公園散策について
定期交流会	令和6年3月8日	会員交流会 囲碁・将棋 筆ペン教室
第 17 回委員会	令和6年3月22日	4月からの会員交流会について
イベント企画	令和6年3月29日	イモ山散策ウォーク

③広報委員会

会議名	開催年月日	主な内容
第6回委員会	令和5年7月11日	広報活動について
第7回委員会	令和5年8月17日	30周年記念誌、各職種、取材について
第8回委員会	令和5年9月25日	30周年記念誌、取材割振りなど
第9回委員会	令和 5 年 10 月 25 日	30 周年記念誌、今後の予定
第 10 回委員会	令和5年11月16日	各職群チラシ作成について

②女性委員会

会議名	開催年月日	主な内容
第8回委員会	令和5年4月11日	他市 SC 活動状況、次回企画内容検討
第9回委員会	令和5年5月30日	イベント内容検討
イベント企画	令和5年6月27日	体操教室・フレイル予防
第 10 回委員会	令和5年7月4日	イベント開催の振り返り
第 11 回委員会	令和5年8月9月	次回企画内容検討
第 12 回委員会	令和5年9月14日	企画内容の継続検討
第 13 回委員会	令和5年10月31日	30周年記念来場記念品について
第 14 回委員会	令和5年11月10日	30周年記念来場記念品について
イベント企画	令和5年11月18日	女性会員ハイキング

4. 研修・講習会の開催状況

名称	開催年月日	主な内容	参加数
特殊詐欺防止講習会	令和5年4月15日	生駒警察署による特殊詐欺防	60名
(事業企画委員会)		止に関する講習会	
フレイル予防講演	令和5年8月26日	栄養士・保健師によるフレイル	39名
(事業企画委員会)		予防に関する講演	
運転適性診断	令和6年1月11日、	社有車運転業務に関わる会員	19名
	令和6年2月9日	を対象とした適性診断	
接遇マナー講習	令和6年2月19日~	接遇マナー及びコミュニケー	161名
	2月20日(2日間)	ション研修	

5. 事故発生状況

事故種類	件数	業務班	内 容
賠償事故	6件	剪定班	トラック移動中荷台の扉が開き壁を損傷(5/9)
		草刈班	トラックをバックで駐車中ガレージ門扉に接触(6/22)
		草刈班	飛石で他社車両の窓ガラスを破損(9/10)
		剪定班	庭の電灯カバーに接触し外れて破損(9/19)
		剪定班	ゴミの積込中、塀上部の瓦屋根を破損(12/4)
		剪定班	庭のセンサーライトの接続ケーブルを切断(12/5)
傷害事故	7件	駐輪場班	横断歩道を横断中、つまずいて転倒(7/7)
		剪定班	作業中蜂に刺される(8/3)
		剪定班	作業中電動バリカンで右手人差し指の先を切る(10/6)
		剪定班	作業中蜂に刺される(11/8)
		建物管理	就業中に転倒する(6/1)
		家事援助	就業に向かう途中に転倒(3/6)
		剪定班	作業中バラのトゲが指に刺さる(3/15)

6. 会員の状況

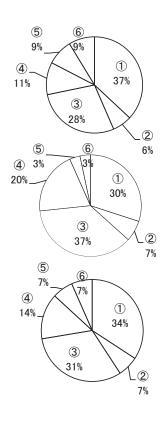
(1) 会員入退会状況 ・・・・・・・・・・・・・・ 別紙(1)(2) 年齢別会員構成比 ・・・・・・・・・・・ 別紙(2)(3) 会員就業状況 ・・・・・・・・・・・・ 別紙(3)

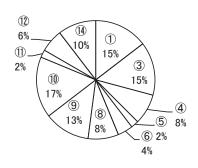
7. 事業実績

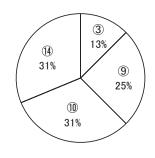
(1)職群別事業実績表 ・・・・・・・・・・ 別紙(4)(2) 月別事業実績表 ・・・・・・・・ 別紙(5)

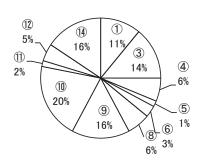
会員入退会状況

◎入会理由	
(男性)① 生きがい、社会参加② 仲間作り③ 時間的余裕④ 健康維持・増進⑤ 経済的理由⑥ その他合計	17 3 13 5 4 4 46
(女性) ① 生きがい、社会参加 ② 仲間作り ③ 時間的余裕 ④ 健康維持・増進 ⑤ 経済的理由 ⑥ その他 合計	9 2 11 6 1 1 30
(合計) ① 生きがい、社会参加 ② 仲間作り ③ 時間的余裕 ④ 健康維持・増進 ⑤ 経済的理由 ⑥ その他 合計	26 5 24 11 5 5 76
◎退会理由	
(男性) ① (本人) ② シルイー (本人) ② シルイー (本本) ③ そのでは (本本) ④ 死亡居 (本本) ⑤ (本本) ⑤ (本本) ⑥ (本本)	7 0 7 4 1 2 0 4 6 8 1 3 0 5 4 4 8
3 3 3 4 7 7 7 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 9 9 9 9 9 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	2 0 0 0 0 0 4 5 0 0 0 5 16
① 病気(本人) ② かんの他で第一次のででは、	7 0 9 4 1 2 0 4 10 13 1 3 0 0 64







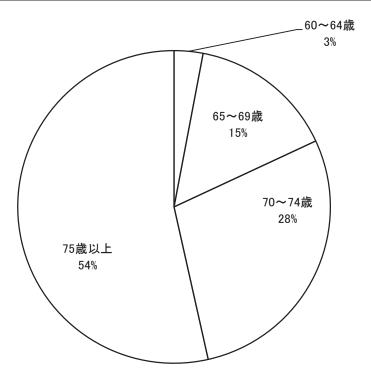


年齢別会員構成比

(令和6年3月31日現在)

年齢別会員数(人)

	男性	女性	合計	構成比
60~64歳	7	10	17	3%
65~69歳	54	32	86	15%
70~74歳	108	54	162	28%
75歳以上	241	64	305	54%
合計	410	160	570	100%



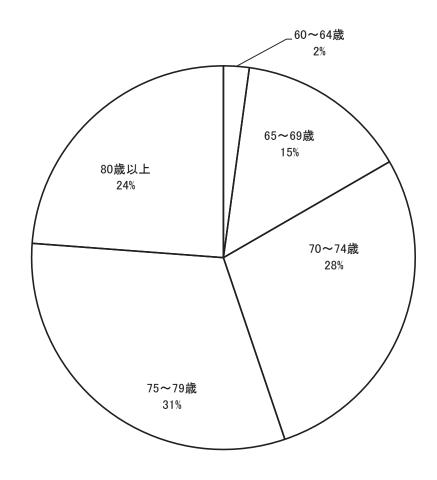
会員の平均年齢 (歳)							
男性	女性	全体					
76.1	73.1	75.3					

会員の最高年齢 (歳)				
男性 女性				
94	86			

会員就業状況

年齢・男女別就業実人員(人)(令和6年3月31日現在)

	男性	女性	合計 (A)	会員数(B)
60 ~ 64 歳	3	7	10	17
65 ~ 69 歳	46	21	67	86
70 ~ 74 歳	88	42	130	162
75 ~ 79 歳	114	31	145	176
80 歳 以 上	95	15	110	129
合 計	346	116	462	570



※期間就業実人員期間就業率

462 81.1%

(A) / (B)

職群別事業実績表

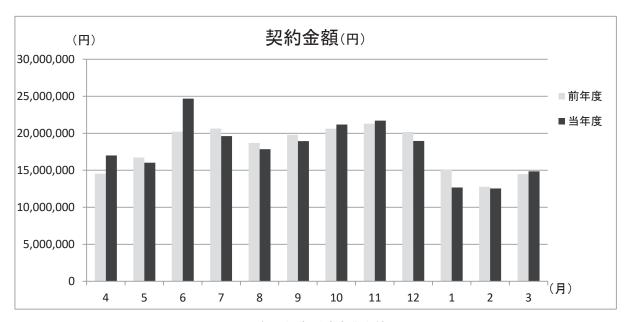
(令和5年4月~令和6年3月)

事項	受 注	件数	契 約	金 額	就業	正 人 員
区分	件	%	円	%	人員	%
技術群	1	0.0	10,000	0.0	2	0.0
技能群	1,270	56.3	46,119,437	21.3	4,843	10.7
事務整理群	14	0.6	1,300,937	0.6	486	1.1
管 理 群	60	2.7	67,465,407	31.2	17,211	38.1
折衝外交群	28	1.2	14,636,034	6.8	3,417	7.6
一般作業群	777	34.5	78,490,863	36.3	16,094	35.6
サービス群	56	2.5	6,627,171	3.1	1,847	4.1
その他	48	2.1	1,373,834	0.6	1,303	2.9
合 計	2,254	100	216,023,683	100	45,203	100

月別事業実績表

(令和5年4月~令和6年3月)

	月末	月間	₩ ¥		契	約金額(円)	(1-111	内訳	
月別	会員 数	就 業 延人数	受 託件 数	配分金	材料費	事務費	駐輪場	合計	公共	民間
4	577	3,851	301	12,532,626	903,929	1,458,088	2,099,980	16,994,623	8,466,970	8,527,653
5	537	3,568	313	11,432,074	1,347,359	1,317,790	1,919,875	16,017,098	5,930,501	10,086,597
6	540	4,649	410	15,775,226	5,094,036	1,816,467	2,000,695	24,686,424	12,359,664	12,326,760
7	539	3,976	404	14,102,963	1,676,961	1,621,272	2,220,550	19,621,746	7,088,936	12,532,810
8	541	3,843	347	12,480,408	1,998,601	1,439,550	1,938,805	17,857,364	6,839,595	11,017,769
9	543	3,961	392	13,636,306	1,648,104	1,569,799	2,081,135	18,935,344	5,800,283	13,135,061
10	550	4,206	458	15,142,736	1,984,612	1,744,058	2,315,330	21,186,736	6,302,998	14,883,738
11	558	4,129	429	15,028,180	3,021,323	1,733,025	1,928,675	21,711,203	7,076,675	14,634,528
12	563	3,763	390	13,801,356	1,586,884	1,591,874	1,972,495	18,952,609	6,052,252	12,900,357
1	569	2,907	241	8,492,807	1,384,679	990,156	1,810,610	12,678,252	4,806,097	7,872,155
2	570	3,042	260	9,110,185	800,874	1,063,062	1,560,415	12,534,536	4,971,765	7,562,771
3	570	3,308	274	10,307,572	1,580,487	1,199,764	1,759,925	14,847,748	6,008,111	8,839,637
合計	_	45,203	4,219	151,842,439	23,027,849	17,544,905	23,608,490	216,023,683	81,703,847	134,319,836



一般労働者派遣事業実績

受注件数	就業延人員	契約金額	賃金	派遣事務手数料
22件	3,464人	24,385,899円	19,568,808円	1,457,224円

有料職業紹介事業実績

求人件数	求人延数	求職者数	就職者数	求人者手数料
0件	0人日	0人	0名	0円

令和6年度 公益社団法人生駒市シルバー人材センター事業計画

はじめに

奈良県内のシルバー人材センター会員数は令和4年度で7,565人(前年比-105名)となり、会員数は直近の年度でも右肩下がりが続いており、令和元年度から797名の減少となっています。一方、当センターにおいては、令和4年度は558名で前年度から13名増となり、会員数は増加に転じています。また平均年齢は令和4年度で75.2歳(前年比+0.1歳)となっており、会員高齢化は着実に進んでいます。

企業側も65歳までの雇用確保義務に加え、令和3年4月から70歳までの就業機会 確保の努力義務が課されています。このような状況から更なる会員入会年齢の上昇が 予想されます。当センターが地域の期待や会員からのニーズに応え、持続可能な団 体であるためには、会員数の拡大は不可欠です。会員の構成比等からみても拡大見 込みのある女性を対象とした会員の拡大を積極的に取り組む必要があります。

加えて、令和5年10月からインボイス制度がスタートし、またフリーランス新法に対応したシルバー人材センターとして新たな契約方法の見直しが検討されています。この見直しについてはセンター運営に大きく影響を与えるものであることから、県シ協等関係各所からの情報収集に努めます。シルバー人材センターには運営の根幹である「適正就業ガイドライン」があります。新たな契約方法にも対応しつつ、法令順守の観点からも非常に重要な事項であることから、適正就業ガイドラインに沿った適正就業を推進してまいります。

以上のことから、安全委員会及び事業企画委員会、広報委員会、女性委員会の3 つの委員会を通じて、「会員及び就業拡大」、「安全適正就業」、「会員主体のセンター」に関する課題に取組、3つの基本方針を掲げ推進してまいります。

1. 基本方針

- (1)会員数及び就業機会の拡大
- (2) 安全適正就業対策(法改正等の対応)
- (3) 会員主体のセンターづくり

2. 具体的施策

(1)会員数及び就業機会の拡大

当センターの会員数は、令和元年度末で634名でした。直近の会員数は570名(令和6年2月)で、64名の減少となっています。会員数の減少の底打ちはしたと思われ、直近の2年間は増加に転じているものの、令和元年度実績にも回復していない状態に

あります。会員数は全国的にみても未だ増加に転じておらず、全国シルバー人材センター事業協会においても重点取組事項として、各センター単位に令和元年度の会員数を目標として、具体的な取組を行うよう要請が出ています。当センターにおいても、会員数の拡大は事業の根幹であることから、最優先取組事項として会員数増加に転じる取組を企画実行してまいります。特に女性会員の入会促進にはまだまだ取組の余地があります。全国の各センターにおける女性会員比率は約30%ですが、当センターにおいては26%と低い水準にあります。現在の入会説明会のみならず、女性委員会や広報委員会、事業企画委員会を通じて、入会につながる施策を実行するとともに、退会抑止となる入会後の早期就業や会員同士のつながりを深められる交流会などを今後とも継続してまいります。

また、シルバー事業のもう一つの重点取組事項である就業機会の拡大については、派遣事業の拡大を重点に取組んでまいります。ここ数年も継続して取組んでいましたが、令和6年度は更に取組を強化します。市内の企業店舗等への営業活動を推進します。その他、エリアサポート事業の拡充や就業体験会の開催、未就業会員に対する就業相談会などを企画して実行していきたいと考えております。

(2) 安全適正就業対策(法改正等の対応)

全国的に賠償事故が増加しています。特に機械除草作業における飛び石事故が多発しており、賠償保険金の支払い金額が大きく膨らむ一方とのことで、すでに賠償保険としては危機的状況にあると聞いており、このまま推移すれば近いうちにシルバー人材センターに対する賠償保険の引き受けも出来なくなると言われています。

このような事態を受け、当センターにおいても令和6年度の賠償事故の発生を無くすため、事故防止を最重点事項に挙げて安全委員会を通じて取組を実施してまいる所存です。当センターの作業別安全就業基準をベースにおき、厚生労働省及び全国シルバー人材センター事業協会から出されている安全適正就業ガイドラインに沿った業務運営体制の確立も同時に推進してまいります。

また昨今、高齢者の自動車運転に関する事故が取りざたされています。当センターもセンター公用車の運転業務には年齢制限を設けておりますが、年齢のみで運転可否の判断ができるものではないため、運転適性診断等の取組を今後も継続するとともに、その他交通事故予防や高齢者向けの安全運転講習会なども開催して、会員に受講してもらうように働きかけを行い、会員の安全はもとより、第3者への安全も含めた安全就業への啓発を推進してまいります。

また、フリーランス新法に対応した新たな契約方法への移行については、会員の就業に関する情報のデジタル化は必須となります。従来から多く使用してきた紙ベース

では限界があります。このことから、主たるシステムであるエイジレス80の追加機能を活用して、会員との新たな契約方法に向けた取組を推進していく必要があります。デジタルに不慣れな会員もおられるため、スマホ教室などのデジタル化に向けた講座を開催するなど、少しでも馴染んでもらえるように取組ます。

加えて、ここ数年に亘り最低賃金の大幅な引き上げによる配分金基準額も上がっています。令和6年度も同様に大きく引き上がる予想がされています。同じ仕事をしていても単価が上がることから、発注者からは仕事の質を求められます。会員には対価に合う仕事ができ、発注者から喜んでもらえる仕事を実施できるよう理解してもらうことが大切です。事務局も会員とともに質の向上を図れるように取組んでまいります。

(3) 会員主体のセンターづくり

基本理念「自主・自立・共働・共助」を基礎として、シルバー人材センターのあるべき 姿である会員一人ひとりがシルバー人材センター運営に参画するため、事業企画委 員会、広報委員会、女性委員会の3つの委員会を立ち上げています。令和6年度も引 き続き、3つの委員会をベースに変革を推進してまいります。これまで各委員会におい て、会員同士のつながり、事務局と会員のつながりを深めるための取組を実践されて います。現在実施されている取組は今後も継続していく予定です。

またフリーランス新法やインボイス制度及び新しい契約方法などの多くの外部環境の変化への対応が求められています。これら全てを事務局で対応することは難しく、外部環境への対応をはじめ、これらの変化に応じた業務の効率化・省力化が図られるように会員の皆様の協力をお願いしたいと考えております。主体はあくまでも会員であること、事務局は様々なルールを逸脱することなく、就業しやすい環境を構築していくこと、会員と事務局双方が本来のシルバー人材センターの形になるように改善してまいります。

公益社団法人生駒市シルバー人材センター令和6年度収支予算令和6年4月1日から令和7年3月31日まで (単位:円)

		* + + = = ##	(単位:円 <i>)</i>	T
科目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増減	内訳
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
受託事業収益	233, 900, 000	227, 800, 000	6, 100, 000	
受取配分金	170, 000, 000	165, 000, 000	5, 000, 000	見積基準単価930円から970円
受取材料費等	19, 500, 000	19, 000, 000	500, 000	
受取事務費	20, 400, 000	19, 800, 000	600, 000	配分金12%
自転車駐車場利用料金収益	24, 000, 000	24, 000, 000	0	
労働者派遣事業等受託収益	1, 500, 000	2, 000, 000	△ 500, 000	
労働者派遣事業受託収益	1, 500, 000	2, 000, 000	△ 500, 000	
有料職業紹介受託収益	100, 000	100, 000	0	
有料職業紹介受託収益	100, 000	100, 000	0	
受取会費	1, 200, 000	1, 160, 000	40, 000	
正会員受取会費	1, 200, 000	1, 160, 000	40, 000	会員数600名を想定
特別会員受取会費	0		0	
賛助会員受取会費	0		0	
受取補助金等	22, 916, 000	22, 916, 000	0	
受取連合交付金	11, 458, 000	11, 458, 000	0	
受取市(区)町村補助金	11, 458, 000	11, 458, 000	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	52, 000	52, 000	0	
受取利息	2, 000	2, 000	0	
雑収益	50, 000	50, 000	0	
経常収益計	259, 668, 000	254, 028, 000	5, 640, 000	
(2) 経常費用			0	
事業費	260, 920, 000	253, 010, 000	7, 910, 000	
支払材料費等	11, 000, 000	11, 200, 000	△ 200, 000	
給料手当	20, 400, 000	20, 000, 000	400, 000	職員社会保険料 産休職員復職による増
臨時雇賃金	4, 000, 000	4, 500, 000	△ 500, 000	臨時職員人件費 臨時職員の減
法定福利費	3, 800, 000	3, 100, 000	700, 000	職員社会保険料 産休職員復職による増
退職給付費用	1, 300, 000	1, 300, 000	0	退職金積立金等
福利厚生費	90, 000	90, 000	0	職員健康診断費用
会議費	30, 000	20, 000	10, 000	
旅費交通費	150, 000	150, 000	0	
什器備品費	200, 000	200, 000	0	
			ļ	!

科目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増減	内訳
消耗品費	2, 000, 000	2, 200, 000	△ 200, 000	
通信運搬費	2, 900, 000	2, 500, 000	400, 000	電話代、切手代等 郵便料金改定による増
減価償却費	90, 000	50, 000	40, 000	
支払配分金	192, 300, 000	186, 000, 000	6, 300, 000	会員配分金
修繕費	1, 400, 000	1, 600, 000	△ 200, 000	機械修理費等
印刷製本費	200, 000	330, 000	△ 130, 000	チラシ等作成費用
光熱水料費	1, 850, 000	2, 200, 000	△ 350, 000	電気、水道料金
賃借料	6, 500, 000	6, 860, 000	△ 360, 000	車両リース代
保険料	3, 700, 000	3, 700, 000	0	シルバー保険、自動車保険、 火災保険等
諸謝金	50, 000	50, 000	0	
租税公課	4, 900, 000	2, 000, 000	2, 900, 000	インボイスによる会員配分金 消費税による増
支払負担金	30, 000	30, 000	0	
組織活動助成費	0	0	0	
委託費	3, 400, 000	4, 300, 000	△ 900, 000	会員見積費用等、各委員会活 動
教材費	30, 000	30, 000	0	
訓練委託費	0	0	0	
支払手数料	500, 000	500, 000	0	コンビニ収納サービス手数 料、銀行振込手数料等
貸倒損失	0	0	0	
雑費	100, 000	100, 000	0	
管理費	4, 185, 000	5, 185, 000	△ 1, 000, 000	
給料手当	1, 000, 000	1, 000, 000	0	
法定福利費	130, 000	130, 000	0	
退職給付費用	40, 000	40, 000	0	
福利厚生費	10, 000	10, 000	0	
会議費	5, 000	5, 000	0	
役員等旅費交通費	800, 000	650, 000	150, 000	
通信運搬費	20, 000	20, 000	0	
消耗品費	20, 000	50, 000	△ 30, 000	30周年記念事業費の減
印刷製本費	50, 000	400, 000	△ 350, 000	30周年記念事業費の減
光熱水料費	0	0	0	
賃借料	120, 000	130, 000	△ 10, 000	30周年記念事業費の減
保険料	100, 000	120, 000	△ 20, 000	30周年記念事業費の減
租税公課	50, 000	25, 000	25, 000	
支払負担金	300, 000	265, 000	35, 000	
委託費	1, 500, 000	2, 080, 000	△ 580, 000	30周年記念事業費の減
支払手数料	10, 000	10, 000	0	
雑費	30, 000	250, 000	△ 220, 000	30周年記念事業費の減

科目	予算額	前年度予算額 (補正後)	増減	内訳
経常費用計	265, 105, 000	258, 195, 000	6, 910, 000	
当期経常増減額	△ 5, 437, 000	△ 4, 167, 000	△ 1, 270, 000	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
特定資産取崩収入			0	
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
固定資産売却(除却)損	0	0	0	
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
他会計振替額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	△ 5, 437, 000	△ 4, 167, 000	△ 1, 270, 000	
一般正味財産期首残高	_	_	_	
一般正味財産期末残高	_	_	ı	
Ⅱ 正味財産期末残高	_			_

予算注記

1. 借入限度額 0円

2. 債務負担額 (令和6年度) 合計 6,441,108円

(内訳)

エイジレス80 1, 222, 320円

サーバー 426, 360 円

ビジネスフォン 191, 400 円

複合機 22,308円

カラープリンター 207, 240 円

自動車 (13台) 2,811,480円

駐車場賃借料 1,560,000円

3. 資金調達の見込み なし

4. 設備投資の見込み なし

令和6年度 収支子算書内訳表

				· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	青 内 訳 委				(単位:円)
四本			A当中 シルバー人材センター事	的事未勾引(天加事未守云 《		無半	卡小	法人会計	↓ □
Ⅰ 一般正味財産増減の部	就業機会提供事業	就業機会僱保事業	目転車駐車場特別事業	現役世代サボート事業	 				
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
受託事業収益	189, 500, 000	16, 815, 500	24, 000, 000	0	230, 315, 500	0	230, 315, 500	3, 584, 500	233, 900, 000
受取配分金	170, 000, 000	0	0	0	170, 000, 000		170, 000, 000	0	170, 000, 000
受取材料費等	19, 500, 000	0	0	0	19, 500, 000		19, 500, 000	0	19, 500, 000
受取事務費	0	16, 815, 500	0	0	16, 815, 500		16, 815, 500	3, 584, 500	20, 400, 000
自転車駐車場利用料金収益	0	0	24, 000, 000	0	24, 000, 000		24, 000, 000	0	24, 000, 000
労働者派遣事業等受託収益	0	1, 500, 000	0	0	1, 500, 000	0	1, 500, 000	0	1, 500, 000
労働者派遣事業受託収益	0	1, 500, 000	0	0	1, 500, 000		1, 500, 000	0	1, 500, 000
有料職業紹介受託収益	0	100, 000	0	0	100, 000	0	100, 000	0	100, 000
有料職業紹介受託収益	0	100, 000	0	0	100, 000		100, 000	0	100, 000
受取会費	0	600, 000	0	0	600, 000	0	600, 000	600, 000	1, 200, 000
正会員受取会費	0	600, 000	0	0	600, 000		000, 000	000, 000	1, 200, 000
特別会員受取会費	0	0	0	0	0		0	0	0
贊助会員受取会費	0	0	0	0	0		0	0	0
受取補助金等	0	10, 678, 000	0	12, 238, 000	22, 916, 000	0	22, 916, 000	0	22, 916, 000
受取連合交付金	0	5, 339, 000	0	6, 119, 000	11, 458, 000		11, 458, 000	0	11, 458, 000
受取市(区)町村補助金	0	5, 339, 000	0	6, 119, 000	11, 458, 000		11, 458, 000	0	11, 458, 000
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	0	0
受取寄付金	0	0		0	0		0	0	0
雑収益	200	500	50, 500	0	51, 500	0	51, 500	200	52, 000
受取利息	500	500	500	0	1, 500		1, 500	200	2, 000
雑収益	0	0	50, 000	0	50,000		50, 000	0	50, 000
経常収益計	189, 500, 500	29, 694, 000	24, 050, 500	12, 238, 000	255, 483, 000	0	255, 483, 000	4, 185, 000	259, 668, 000
(2) 経常費用									
事業費	184, 350, 000	38, 090, 000	25, 030, 000	13, 450, 000	260, 920, 000	0	260, 920, 000	0	260, 920, 000
支払材料費	11, 000, 000				11, 000, 000		11, 000, 000	0	11, 000, 000
給料手当		15, 800, 000	0	4, 600, 000	20, 400, 000		20, 400, 000	0	20, 400, 000
臨時雇賃金		400, 000	0	3, 600, 000	4, 000, 000		4, 000, 000	0	4, 000, 000
法定福利費		3, 000, 000		800, 000	3, 800, 000		3, 800, 000	0	3, 800, 000
退職給付費用		1, 150, 000		150, 000	1, 300, 000		1, 300, 000	0	1, 300, 000
福利厚生費		50, 000	0	40, 000	90,000		90, 000	0	90, 000
会議費		20, 000		10, 000	30, 000		30,000	0	30,000
旅費交通費		150, 000			150, 000		150, 000	0	150, 000
什器備品費		200, 000			200, 000		200, 000	0	200, 000
消耗品費	900, 000		100, 000	100, 000	2, 000, 000		2, 000, 000	0	2, 000, 000
通信運搬費		1, 800, 000		1, 000, 000	2, 900, 000		2, 900, 000	0	2, 900, 000

			公益目的事	目的事業会計(実施事業等会計)	(4)				
本面			July -			大通	11年		丰
	就業機会提供事業	- 1	自転車駐車場特別事業 現後	現役世代サポート事業		į	- 1		
減価償却費		90, 000			90, 000		90, 000	0	90, 000
支払配分金	170, 000, 000		22, 300, 000		192, 300, 000		192, 300, 000	0	192, 300, 000
修繕費	700, 000	200, 000	300, 000	200, 000	1, 400, 000		1, 400, 000	0	1, 400, 000
印刷製本費	100, 000		0	100, 000	200, 000		200, 000	0	200, 000
光熱水料費		50,000	1, 800, 000	0	1, 850, 000		1, 850, 000	0	1, 850, 000
賃借料	1, 450, 000	2, 200, 000		2, 850, 000	6, 500, 000		6, 500, 000	0	6, 500, 000
保険料		3, 500, 000	200, 000		3, 700, 000		3, 700, 000	0	3, 700, 000
諸謝金		50,000			50,000		50, 000	0	50, 000
租税公課		4, 900, 000			4, 900, 000		4, 900, 000	0	4, 900, 000
支払負担金		30, 000			30,000		30, 000	0	30, 000
組織活動助成費					0		0	0	0
委託費	200, 000	3, 000, 000	200, 000		3, 400, 000		3, 400, 000	0	3, 400, 000
教材費		30, 000			30, 000		30, 000	0	30, 000
訓練委託費					0		0	0	0
支払手数料		470, 000	30, 000		500, 000		500, 000	0	500, 000
貸倒損失					0		0	0	0
雑費		100, 000			100,000		100, 000	0	100, 000
管理費	0	0	0	0	0	0	0	4, 185, 000	4, 185, 000
給料手当								1, 000, 000	1, 000, 000
法定福利費								130, 000	130, 000
退職給付費用								40, 000	40,000
福利厚生費								10, 000	10,000
会議費								5, 000	5, 000
役員等旅費交通費								800, 000	800, 000
通信運搬費								20, 000	20,000
消耗品費								20, 000	20, 000
印刷製本費								20, 000	50, 000
光熱水料費								0	0
賃借料								120, 000	120,000
保険料								100, 000	100, 000
租税公課								20, 000	50,000
支払負担金								300, 000	300, 000
委託費								1, 500, 000	1, 500, 000
支払手数料								10, 000	10,000
雑費								30, 000	30,000
経常費用計	184, 350, 000	38, 090, 000	25, 030, 000	13, 450, 000	260, 920, 000	0	260, 920, 000	4, 185, 000	265, 105, 000
当期経常増減額	5, 150, 500	∨8, 396, 000	△979, 500	△1, 212, 000	△5, 437, 000	0	△5, 437, 000	0	$\triangle 5,437,000$

			公益	目的事業会計(実施事業等会計)	[会計)				
科目		.,1	シルバー人材センター事	業 :		宏;#	T= \/	拼	수計
	就業機会提供事業	就業機会確保事業	自転車駐車場特別事業	現役世代サポート事業	丰	米国	15,1,		
2. 経常外増減の部									
(1) 経常外収益									
特定資産取崩収入	0	0			0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用									
固定資産売却(除却)損	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替額	0	0	0		0	0	0	0	0
当期一般正味財產増減額	5, 150, 500	000 '386' 000	△979, 500	△1, 212, 000	△5, 437, 000	0	△5, 437, 000	0	$\triangle 5,437,000$
一般正味財産期首残高					_		_		I
一般正味財産期末残高					_		_		1
I 正味財産期末残高					1		1		1

会員責務十か条

- 自主的に活動すること一、センターの理念・目的に賛同し、積極的に
- 展に協力すること
 二、センターの構成員として、健全な運営と発
- 三、健康第一、安全就業に努めること
- て、新しい考え方を取り入れること四、過去にこだわらず、高齢者の特権意識を捨
- 証がないことを理解すること五、センターと雇用関係がなく、かつ収入の保
- 組むこと
 六、発注者の立場になって、業務を真摯に取り
- こと
 七、業務は共働、共助の精神をもって従事する
- 人、地域の課題解消に向けて活動すること
- と
 た、センターと協力して業務の開拓に努めるこ
- するよう努めることを発性会活動に参加

(令和元年七月一日制定)